

令和8年(2026年)2月3日

市立札幌病院に通院中の1階、2階、3階外来および
内視鏡画像センター、臨床生理検査室で転倒・転落の経験がある患者様へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を調査することにより行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学健医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。情報を利用することに了承いただけない場合、研究の対象にはなりません。この研究に関する問い合わせなどがありましたら、別紙の「問い合わせ先」へご紹介ください。

【研究課題名】『A病院外来における転倒の実態調査』

～転倒・転落インシデントレポートの環境要因に着目して考察する～

【研究機関】市立札幌病院 看護部看護課

【研究責任者】看護部看護課 2階外来 木田智子

【研究者】看護部看護課 2階外来 猿子 ゆかり

【研究目的】

市立札幌病院は、高度急性期病院として、複数科を併診している患者様、合併症のある患者様など様々な状態の患者様の診療に携わっております。また、当院は総合病院であり、外来受診や検査等で患者様が移動する距離も長く、日常生活行動によっては転倒リスクが高まると考えます。さらに、外来の環境の性質上、看護師などの医療従事者はそばにいないことが多いです。そのような中、院内の転倒・転落予防として、当院には転倒・転落防止対策マニュアルや、転倒・転落予防フローチャートがあり、転倒・転落予防に日々努めています。しかし、このマニュアルやフローチャートは主に入院患者様を対象とした内容となっています。そのため、外来においては、転倒・転落に関するフローチャートの使用は適していません。外来では統一した予防策には至っていません。

また、外来高齢患者の転倒予測・予防に関する研究はありますが、外来における環境要因のみに着目した転倒・転落のインシデントの分析を行った研究はほとんどありません。

そこで、外来で転倒・転落した時の環境に関する詳細を分析し、転倒・転落に至った環境要因を明らかにすることで、今後同様の転倒・転落が発生しない為の環境の改善や予防策を検討したいと考え調査することとしました。

【研究期間】

2024年4月～2026年7月

【研究方法】

1. 対象 2020年4月1日から2025年3月31日に外来通院で1階、2階、3階外来、内視鏡画像センター、臨床生理検査室で転倒・転落の経験がある患者様
2. 利用する情報 2020年4月1日から2025年3月31日の転倒・転落インシデントレポートから発生場所、発生状況

【研究の倫理的配慮】

1. 承認の有無
この研究は市立札幌病院倫理委員会看護研究倫理審査部会の承認を得て実施します。
2. 研究対象者の安全および人権擁護への配慮
 - 1) 自由意思の尊重について
研究への参加は自由意思によるものであること、強制ではないことを保障します。
 - 2) 通常の職務との研究活動の区別について
研究者は、業務に支障がない状況で研究活動を行います。また、研究中であっても看護ケアを必要とする場合には、ケアの提供を優先します。研究中に最良のケアが明らかとなった場合、その時点で最良のケアを提供することを保障します。
 - 3) 研究対象者が研究に参加することによって得られる利益について
研究に参加することによる直接的な利益はありません。
 - 4) 研究対象者が研究に参加することによって生じる不快・不利益・不自由・リスクについて
研究に参加、協力することで起こり得る不快な状態として、転倒・転落時の辛い体験を想起される可能性があります。体調不良や不快に感じる場合には、研究への参加や協力を拒否することができます。その際平日の9時～17時までに2階外来へ連絡をいただければお話を伺うことができます。
 - 5) 研究への参加拒否・中止の保障について
研究に参加されない場合も不利益がないことを保障します。今回の研究では電子カルテのインシデントレポートから、発生場所、発生状況の情報のみを使用します。使用してほしくない場合は、データ分析開始予定である令和8年2月28日までに研究者に連絡することで辞退することも可能です。
 - 6) 研究対象者が研究内容を知る権利について
この研究に関する情報を知りたい場合には、研究期間中の平日9～17時の間、研究者へ質問が可能であり、回答することが出来ます。その場合には、別紙連絡先へご連絡ください。研究者が不在の場合は他スタッフがご用件を確認させていただき、研究者が後日（平日9時から17時の間）伺った電話番号に連絡させていただきます。

す。

7) 研究対象者の個人情報やプライバシーの保護の方法について

インシデントレポートで知り得た情報から、患者氏名、診療科、病名、治療経過を調査いたしません。情報は本研究以外で使用することはありません。電子データはパスワード付きの USB フラッシュメモリーに保存しパスワードは毎月変更いたします。使用時はインターネットに接続していない状態かつ、ウイルス対策ソフトを随時更新しているパソコンを使用します。紙媒体の情報および研究に使用する USB フラッシュメモリーは鍵のかかる 2 階外来管理室の引き出しに保管し、研究代表者が鍵を管理、研究以外では使用しません。令和 8 年 7 月看護研究発表会が終了後全てのデータを 3 年間保存し、紙媒体はシュレッダー、電子媒体は全ての情報を消去することを保障します。

8) 自由な意思で決定することが難しい、または理解力、判断力が十分でない（乳幼児や意識障害者等）ため主体的な判断が難しい場合は、代諾者の方が参加の有無の判断をお願いいたします。

9) 研究への同意について

令和 8 年 2 月 28 日までに参加拒否のご連絡がない場合、同意いただいたと判断します。

10) 研究結果の公表方法・時期について

本研究は令和 8 年 7 月看護研究発表会（2026 年 7 月 25 日開催予定）で発表します。また、院外研究発表の可能性もあります。

【利益相反】

本研究において利益相反はありません。

以上につきましてお問い合わせの際は別紙へご連絡ください。

（お問い合わせ先）

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目 市立札幌病院

研究者：市立札幌病院看護部看護課 2 階外来 猿子ゆかり

研究責任者：市立札幌病院看護部看護課 2 階外来 看護師長 木田智子

電話 011-721-2211（内線 3292）

平日 9～17 時まで